

委員会報告

本会議において各常任委員会に付託された議案審査は、次のように決定した。

総務常任委員会

付託された5議案については慎重な審査の結果全議案は原案どおり全員一致で可決し、報告2案件についても了承した。

質問 平成24年度財政調整基金の総額は

答弁 平成23年度末の現在高は19億9,800万円程度になり、これに24年度の予算執行の状況から今年度末の総額は12億2,800万円程度を予定している。

質問 小城市税条例の一部を改正する条例の中で26年度から市民税が上がるとのことだが、対象者は何人、税額はいくら上がるか。

答弁 市民税の均等割の対象者は約20,600人で年間約1,000万円程度と見込んでいる。



▲啓発用ポスター

文教厚生常任委員会

付託された議案について慎重な審査の結果、全議案について全員一致で可決した。

質問 議案第45号小城市一般会計補正予算(第1号)の教育費委託金についてどういう理由で研究指定校に選択されたのか。

答弁 三日月中は新学習指導要領に基づいて各教科でどのような指導を行うかという教育課程の研究で、学級数、生徒数を参考に今年までの2年間実施。牛津中は指導者や設備の関係で柔道を指定。

質問 議案第48号工事請負契約の締結(芦刈小学校改築に伴う室内運動場建築工事)の入札、積算のあり方について、非常に高い落札率であり、落札後項目別に検証すべきでは。

答弁 業者選定については指名委員会で決定している。積算のあり方については、今後、分析・精査していく。

小城市教育委員会がめざすもの

城創伝心

(城創伝心は、小城の歴史と伝統を受け継ぎ、文化を創造する豊かな心を育み後世へ伝える)

ぐっすりねむろう 早寝・早起き・朝ごはん

身につけよう 毎日机に 向かうくせ

すすめよう 豊かな心は 読書から

活かそう 子どもの学びと未来をつくるICT

子どもたちが夢と希望を持って育ちと学びを大切にいくためのものである。
市民・各関係機関は、趣旨を真摯に受けとめ実践するものとする。

産業建設常任委員会

付託された議案は、原案どおり可決した。なお中心市街地活性化事業の交流プラザについて、附帯決議を付して決定した。

意見 交流プラザの年間維持費が1,500万円程度かかるとのことだが、分担内訳は検討されたか。

答弁 基本計画では、運営は、まちづくり小城に位置づけているが、具体的な費用負担、リスク分担は協議していない。今後協議、決定していく。



▲市民交流プラザの建設が予定されている小城庁舎